

# 伊那まちの再生やるじゃん会

長野県伊那市

## ！取組のポイント

にぎわい創出イベントや個店の魅力アップ事業、伊那らしいライフスタイルの提案など、様々なアプローチを行い地域の要請に応えられる地域に密着した商店街づくりを推進。

## 取組の背景

### にぎわいが失われていく中、再生プランを策定

伊那市の中心商店街(山寺・坂下・荒井・西町)は、街の機能の分散や交通環境の変化、長引く消費の低迷にともない、かつてのにぎわいが失われつつあり空き店舗率も高くなっている。

こうした中、2010年度に伊那市中心市街地再生協議会を設立。商店主・伊那商工会議所などの関係団体・有識者による検討を重ね、現状と課題を分析し、商店街が今後目指すべき姿と重点方針を打ち出した再生プランを策定した。高齢化・人口減少が進む中、地域と連携して商店街が生活のよりどころとなり、安心して楽しく生活できる場所となることが求められている。

「住みたくなるまち」「訪れたくなるまち」を目指し、中心商店街が地域コミュニティの中核として人が気軽に集い、憩える場になるよう継続的に取り組むことを課題として位置づけた。

## 取組の内容

### 商店街・個店の魅力アップに挑戦

個店の魅力アップ・おもてなしサービスの充実を図り、にぎわいを創出するイベントを開催することにより、来街者と売上の増加及びコミュニティ機能の向上を図り、地域が抱える課題の解決に向けて、以下のとおり多岐にわたる事業に取り組んでいる。

①商店街全体にバラの鉢植えを植栽し、里山の間伐材を活用した木のキット「KEES（キーズ）」を鉢カバーとして設置し、街なかを明るく華やかに演出する「バラ咲く街角事業」は、来街者の増加と新たなコミュニケーションを生んでいる。

ちびっこ駅伝大会



出張販売「こんにちは伊那まち」



朝マルシェ&音楽イベント



②商店街のスペースを、地域のコミュニティ活動、音楽やダンスなどの発表の場として提供している。

③買い物弱者支援サービスとして、店主たちが自店の商品を車に積み、郊外へ出かけ直接販売する出張販売「こんにちは伊那まち」を実施している。

④商店街全体で取り組むにぎわい創出イベントとして、市内園児が疾走する「ちびっこ駅伝大会」や、「歩行者天国」、「ハロウィン」、上伊那の酒蔵が一堂に会し酒を楽しむ「伊那街道呑みあるき」、地元の有機野菜を使った朝食を提供する「いなまち朝マルシェ」などを開催している。

⑤空き店舗を活用して、街なかの情報発信・交流拠点施設「タウンステーション伊那まち」を設置・運営している。

⑥店主などによる「儲けるための勉強会」を毎月1回開催。メンバーの披歴や意見交換が参加者の気づきの機会となり、商店街の価値観の共有と、個店の魅力づくりに取り組んでいる。

バラ咲く街角



## 取組の成果

### 「伊那まち」の価値観の醸成と共有

2014年度からは、新たなグループが中心となり、地元の有機野菜農家や飲食店が協力して朝食を提供する「いなまち朝マルシェ」を、5月～10月の第4日曜日に開催。伊那らしいライフスタイルを提案する事業として、回を重ねるごとに価値観に共感する人も増えている。

次世代を担う子どもたちに商店街を知ってもらおうと始めた「ちびっこ駅伝大会」には、約500人の園児が参加。保護者などを含めると1000人超が商店街を訪れる。また、上伊那地域にある13の酒蔵が商店街に集結する春と秋の「伊那街道呑みあるき」は、大人が楽しめるイベントとして定着。毎回500名を超える人が市内外から参加、女性の参加者も徐々に増えている。

買い物弱者支援の出張販売は、高齢者にとってなじみの深い地元の商店街の事業として、周辺地域からも期待されている。

また、商店主などによる勉強会からの産物として、フリーペーパー「伊那まちの物語」を発行。商店街と個店の魅力を広く情報発信している。

これらの多様な事業が、新たな人と人との交流と商店街の再認識につながっており、今後お客様に喜ばれ選ばれる店づくりに向けた取組を継続的に行っていく方針である。

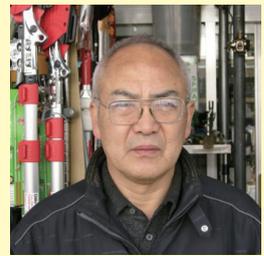
## 実施体制

伊那まちの再生やるじゃん会は、店主のほか地域住民なども事業に参画している。事業ごとに専門委員会を構成し、メンバーが主体的に企画・実施している。また、地元の小学校の総合学習の一環として取り入れられたり、信州大学や地元高校などが参画している事業もある。事業実施にあたっては、地域はもとより伊那市・伊那商工会議所などの関係団体との連携も密にとっている。基本的に事業ごとに採算がとれるように実施しているが、事業の内容によっては、自主財源のほか県などからの補助も有効に活用している。

## 基本データ

所在地	長野県伊那市荒井
人口	約7万人(伊那市)
電話/FAX	0265-72-2401/0265-72-8808
関連URL	<a href="https://ja-jp.facebook.com/townstation">https://ja-jp.facebook.com/townstation</a>
会員数	46名
店舗数	約240店舗(買回り品小売店89、最寄品小売店15、飲食店87、サービス店33、その他16)
商店街の類型	地域型商店街
主な客層	主婦、高齢者、家族連れ

## キーパーソンからのコメント



伊那まちの再生やるじゃん会  
会長 内山 和夫

### 地域住民と歩む商店街へ

中心市街地の活性化に向け、商店街が連帯感を持ち地域住民と価値観を共有しながらまちづくりを進めることが必要であるという観点から、商店街のコミュニティの場としての活用、個店の魅力づくりに長期的なスタンスで取り組んでいます。

伊那まちの個性を活かし、地域住民に密着した商店街として、人と人との交流があり、にぎわいと活力が感じられるまち、訪れたいまちを目指して、多方向からアプローチしながら事業に取り組んでいます。

### “伊那まち”の魅力を発信

商店街について、高齢化、後継者不足、空き店舗増加と大変厳しい状況が続く中で、時代や嗜好の変化に対応するべく知恵を出し合い、「こだわり」「人と人とのつながり」を大切にすまちとして、これからも“伊那まち”の魅力を発信していきます。

メンバーが伊那まちの価値観を共有し、それに共感していただける人を増やし、個性豊かで確かな技術と知識をもつ専門店が集まる商店街づくりに向けて、地道に、そして継続的に取り組み、商店街のさらなるファンづくりを今後とも目指していきます。

### 商店街概要

伊那市の中心商店街(山寺・坂下・荒井・西町)は、かつては地域住民の生活交流の場であり、にぎわいの場であった。しかし、大規模店舗の出店や、交通環境の変化、さらには店主の高齢化・後継者不足などによる空き店舗の増加など、厳しい状況が続いている。このような状況から、当街区では2010年より伊那市中心市街地再生支援事業に取り組んでいる。「豊かで安心な生活のよりどころ、活力と賑わいのあるまち～「花」と「音楽」の街～」を目指して、2011年度に再生プランの実行組織として、伊那まちの再生やるじゃん会を設立し様々な事業を主体的に実施している。